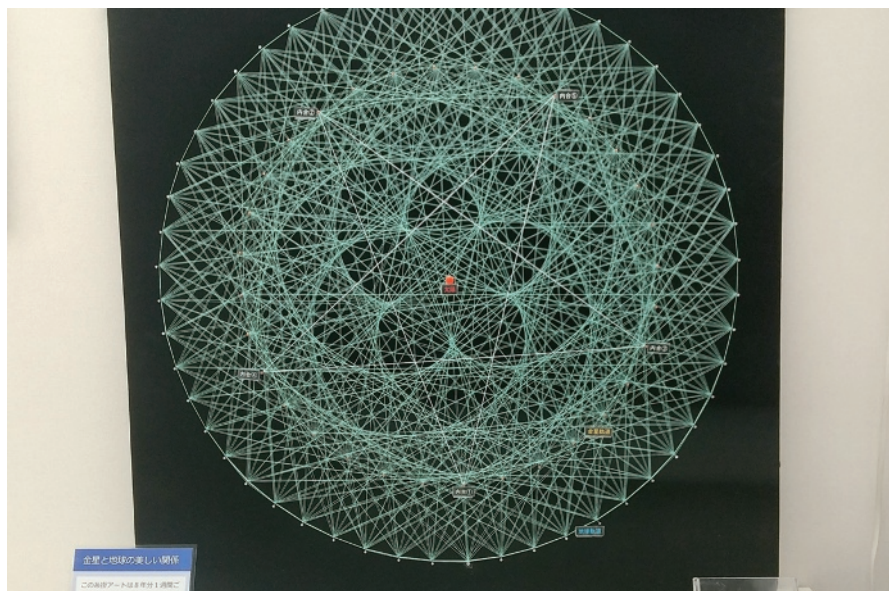


糸掛けアート（展示場入口）



糸掛けアート「金星と地球の美しい関係」

5月28日(日)まで開催している蔵出しコレクション展に出品している作品です。

この糸掛アートは金星と地球の公転軌道上の位置を8年分1週間ごとに糸でつないで制作しました。興味深いことに、金星と地球の公転周期は「8:13」という整数比になっています。地球が8回公転する(つまり8年)間に金星は13回公転し、8年後、両惑星は元の位置にもどります。一定の時間間隔で金星と地球の位置を線で結ぶと、八重の五弁の花びらを示す、美しい模様が現れます。

制作には200m巻のミシン糸を2巻使いました。途中で糸巻から伸びた糸が絡まってしまい、解きほぐすのに四苦八苦しました。よほどゴルディアスのように結び目を切ってしまうかと思いましたが、なんとか解決しました。

制作過程を撮影したタイムラプス動画をYoutubeにアップしていますので、ご覧ください(https://youtu.be/Wfh9z-ah_SA)。途中、何も動きがない空白の時間帯で糸の解きほぐしをしています。そんな苦労の末の作品です。

石坂 千春(科学館学芸員)